

快挙！初の全国へ 宮中女子陸上部



出場報告をした宮中女子陸上部メンバー

第58回男子・第22回女子鹿児島県中学校駅伝競走大会が11月11日、指宿市宮陸上競技場を発着点とする特設コースで行われ、宮之城中学校女子陸上部が初優勝を果たし、11月24日、町長に報告を行いました。同部は、12月19日に山口市で開催される全国大会へ出場します。全国大会での活躍が期待されます。

また、宮之城中学校男子16位、鶴田中学校男子32位、鶴田中学校女子25位とそれぞれ健闘しました。

【優勝した宮中女子陸上部の記録と走者】

女子5区間12キロ

■タイム：41分29秒

■走者（敬称略）

第1区 永吉百恵 第2区

勝久美菜子 第3区 杉

元美咲 第4区 早崎晴香

第5区 岸良美周

全国へアタック！ 中学バレー県選抜



古田教諭・今給黎教諭・正岡さん・西さん・牧田さん・東教育長（左から）

第23回全国都道府県対抗中学バレーボール大会（JOCジュニアオリンピックカップ）に出場する鹿児島県選抜として、本町から宮之城中学校男子バレー部牧田怜さん、西慶梧さん、鶴田中学校男子バレー部正岡翔大さんの3名の選手が選ばれ、11月4日、東教育長に、今回の選抜された旨の報告を行いました。

3人は毎週土日に、今月末に行われる大会に向けて厳しい練習や遠征を行っています。

■大会名Ⅱ第23回全国都道府県対抗中学バレーボール大会（JOCジュニアオリンピックカップ）

■大会期Ⅱ平成21年12月25日～28日

■大会会場Ⅱ大阪府立体育館・大阪市立中央体育館

防災・減災フォーラム

11月3日、薩摩農村環境改善センターにおいて、「防災・減災フォーラム2009 in 川内川」が開催されました。

このフォーラムは、川内川流域に広がる自主防災組織の防災活動にスポットをあて、先進的な事例や実績を学ぶことにより、今後、防災・減災に繋がることを目的に開催されたものです。

フォーラムでは、名城大学大学院柄谷准教授による講演や、川内川流域の各自主防災組織代表による取り組みが報告され、本町からは、轟原公民会の新屋幸治公民会長が公民会の防災訓練の実施、災害時要援護者対策、役割分担などについて報告されました。

当日は、町内の各公民会長をはじめ、流域市町から400名を超える参加者となりました。



パネルディスカッションの様子

振り込め詐欺撲滅へ！ ミニのぼり旗の贈呈



贈呈式後の様子

11月4日、鹿児島信用金庫宮之城支店において、防犯標語ミニのぼり旗の贈呈式が行われました。

これは、振り込め詐欺の被害が今後発生しないよう、全国地域安全運動県防犯標語の金賞を受賞した、求名小学校6年生の谷山美里さんの標語「ぜったいに！電話一つで振り込まない」を記載したミニのぼり旗を作成し、贈呈したものです。

贈呈式では、日高町長、赤間警察署長、中尾議会議長、その他関係者の参列のもと、立和田支店長に、ミニのぼり旗が贈呈されました。

なお、ミニのぼり旗は50本作製し、さつま地区金融機関防犯協議会に所属する銀行や郵便局、農協とATMを設置している店舗などに配付しました。

みんなで奏でる音楽会 小中学校音楽発表会

第5回さつま町小中学校音楽発表会が11月13日、宮之城文化センターで開催されました。

舞台上上がった子どもたちは、日頃の練習の成果を発揮し、それぞれの学校の特色を生かした発表をしました。

この日は「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」中であり、多くの保護者も鑑賞に訪れ、子どもたちの健やかな演奏や元気のある歌声に大きな拍手が送られました。



山崎小学校のステージの様子

「北薩横断道路」早期全線開通を目指して！

地域高規格道路「北薩横断道路」整備促進地方大会

11月7日、宮之城総合体育館で、地域高規格道路「北薩横断道路」整備促進地方大会が北薩空港幹線道路整備促進期成会（会長Ⅱさつま町長）の主催で開催されました。

この大会は、鹿児島空港から阿久根市までの「北薩横断道路」の早期全線開通を目指し、地域一体となった要望活動を展開するため開催されました。

当日は、沿線の4市2町（出水市・阿久根市・薩摩川内市・霧島市・長島町・さつま町）から約1,600人の参加があり、国議員などに対して、それぞれの地域住民の代表の方々から力強いアピールをしていただきました。

また、薩摩中学校2年生の上別府裕莉さんが、未来へのメッセージを読み上げると、会場は大きな拍手に包まれました。

最後に、参加者全員でガンバロー三唱を行い、北薩横断道路の早期全線開通を祈念しました。



参加者全員によるガンバロー三唱

北薩空港幹線道路整備促進期成会及び国道328号整備促進期成会による県への要望

11月2日、鹿児島県市町村自治会館において、各期成会による県への要望活動が、県土木部次長の長谷場良二氏ら関係課長などに対して行われました。

地域高規格道路「北薩横断道路」の整備促進については、主に、鹿児島空港から北薩空港道路間及び薩摩道路から泊野道路並びに、紫尾道路から国道3号間の調査区間への早期格上げを図るよう、強く要望されました。

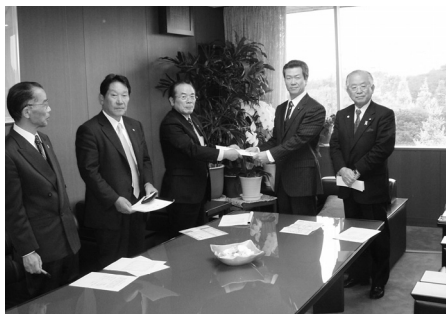
また、国道328号の整備促進については本町下船木地区から地域高規格道路

（国道504号）間の整備促進などを要望されました。

地域高規格道路「北薩横断道路」整備促進に向けて国土交通省へ要望

11月19日、国土交通省において、地域高規格道路「北薩横断道路」整備促進に対する要望活動を、北薩空港幹線道路整備促進期成会を代表して町長及び町議会議長並びに出水市副市長が行いました。

一行は、馬淵澄夫国土交通副大臣に要望書を直接手渡し、北薩横断道路の早期全線開通や薩摩道路から泊野道路までの調査区間への格上げ等を強く要望しました。このほか鹿児島県選出の国會議員事務所も訪問し、要望活動を行いました。



馬淵副大臣（右から2番目）に要望書を手渡す町長

豊作に感謝！

下川口「田の神講」

11月7日、下川口公民会で毎年行われている「田の神講（タノカンコウ）」が行われました。

石造りの「田の神さあ」は2体あり、大きな神様は約50kg、小さな神様は約10kgあります。

公民館に集まった農家の方々はそれぞれ、「田の神さあ」の頭に御神酒を捧げ、今年の豊作の感謝と来年の豊作の祈願しました。

祈願が終わると、ホラ貝、太鼓のリズムに合わせて、一人ずつ「田の神さあ」を抱えながら踊りが始まります。

踊りが終わると、その日についた餅を小豆にまぶしてワラにくるみ「田の神さあ」に背負わせました。



「田の神さあ」を抱えて踊る様子

農業後継者祝金贈呈式

10月23日、役場町長室にて、「さつま町農業後継者祝金贈呈式」が行われました。これは、本町に後継者として新規に就農した者に祝金を交付して、就農意欲の向上と、優れた農業経営者の育成を図ることにより、本町の農業の活性化と農村振興に寄与することを目的とし実施されたものです。

本年度は、水稲・ハウスきんかん・生産牛・茶に4人が後継者として就農し、贈呈式において、日高町長から農業後継者へ励ましの言葉と祝金の贈呈が行われました。

出席した3人の後継者はそれぞれ今後の経営方針など抱負を伝えました。



熊田さん・馬場さん・小山さん（前段左から）